

講演会報告

第 57 回応用物理学関係連合講演会(2010 年)

講演会企画運営委員長 中川 清和*

第 57 回(2010 年春季)応用物理学関係連合講演会が 2010 年 3 月 17 日(水)から 3 月 20 日(土)までの 4 日間、東海大学湘南キャンパス(神奈川県平塚市)で開催されました。会期中は 1 日目夕方少し雨に降られたことを除けば、良い天気恵まれた中で開催されました。リーマンショックに続くドバイショックの影響が残る中、講演会参加登録料改定や予稿の DVD 化等の大きな変化が重なったにも関わらず 7,781 名の方々に参加登録をいただき盛況のうちに講演会を終えることができました。成果発表の場として会員の皆様が本講演会を大事にしている現われと関係者一同感謝しております。

本講演会では、東海大学の先生方で現地実行委員会が組織され、1 年以上も前から開催に向けて本務で忙しい中準備を進めていただきました。現地実行委員長の内田晴久先生、副委員長の木村英樹先生、総務担当の浅香隆先生をはじめ、現地実行委員会の諸先生方のご尽力に厚く感謝申し上げます。また現地実行委員会顧問として全体運営にご配慮頂きました松前達郎東海大学総長、高野二郎東海大学長をはじめとする関係の方々のご多大なご尽力に対しまして、この場を借りて御礼申し上げます。

今回の講演会では、分科会・研究会および応用物理学会企画のシンポジウムが 36 テーマについて開催されました。招待講演者による最新の研究をまとめて聞く機会は会員にとって大変有意義なもので、今後とも充実したシンポジウムを企画できるよう努力いたします。講演件数は、一般講演 3,657 件と 36 テーマのシンポジウム発表など 691 件を合わせて 4,348 件の講演申込があり、47 の口頭講演会場、総合体育館のポスター会場で活発な討論が行われました。とりわけ以下の特別企画のシンポジウムやスクールなどが多くの参加者の興味をひいておりました。

応用物理学会特別企画シンポジウム「応用物理学の将来ビジョン - アカデミックロードマップと発展史マップ - 」

最初に経済産業省産業技術環境局の土井良治研究開発課長殿から「産業技術戦略からみたアカデミックロードマップへの期待」と題した特別講演があり、引き続き 19 の技術にわたって過去の技術発展に基づいて未来を展望し、応用物理学の将来ビジョンを明確化することを目的として、発展史マップとアカデミックロードマップの報告が行われ、400 名を超える参加者がありました。

応用物理学会 / 日本工学アカデミー共同企画シンポジウム「20 年後を見据える科学技術人材育成 グローバルに活躍する自立型女性・若手研究者/技術者」

最初に小館日本女子大名誉教授の第 9 回応用物理学会業績賞受賞記念講演「理系女性研究者育成と男女共同参画・人材育成の推進」が行われ、その中で男女共同参画の重要性が示されました。引き続き行われた 5 講演とパネルディスカッションではグローバルな社会での女性・若手研究者や技術者の自立的素養を育てるための意義と方策について熱心に議論がなされました。

APEX/JJAP フレンドシップミーティング

APEX が 2008 年 1 月に創刊されて以来 3 年目に入り、我が国が世界に発する独創的な論文誌としての評価が高まってきており、インパクトの高い論文が数多く投稿されています。今回は、「良い論文とはどのようなものをいうのか」をテーマにして、3 つの講演がなされました。特に、ジャーナルの評価という観点から、棚橋氏(トムソン・ロイター)から貴重な講演をいただき、論文誌の使命やそのフィロソフィーを学ぶ非常に貴重な機会であったと思われます。さらに、恒例となったマ

ーク・ピーターセン先生による「著者の意図の伝わる英文の書き方」では、実際の投稿論文を用いた実践的な添削指導を受けることができ、参加者には極めて有益なものとなりました。

人材育成・男女共同参画委員会特別企画「博士のキャリア相談会」

この企画は、企業、大学、独立行政法人研究所など14機関が参加して実施されました。今回も主として博士課程在籍または修了の100名以上の求職者が各ブースで担当者と熱心に相談しておりました。この企画は今回が54回目でも後も引き続き実施される予定です。

応用物理学会スクール「コンピューショナル・マテリアルズ・デザイン入門」 「集積化MEMS技術-基礎から応用」

今回のスクールは、初めての試みとして総合体育館の企業展示会場中央の特設会場で開催されました。では、第一原理計算を活用したコンピューショナル・マテリアルズ・デザインに関する先端研究事例を集め、最先端の計算手法の活用方法・成果の紹介がなされ、では加速度センサ、圧力センサ、ディスプレイデバイスへの応用など、市場の伸びを示している集積化MEMS技術の基礎から応用に関して、原理、課題、最近の話題等が紹介されました。

今回も魅力溢れる企画が多く、参加者には満足していただける講演会ができたものと考えております。このような魅力的な企画を立案された多くの委員の皆様最後に感謝の意を表します。

以前に実施しましたアンケート調査をもとに、予稿集のDVD-ROM化を本講演会から実施致しました。第1、2、3分冊全てをDVD-ROM1枚に収めたもので、索引機能により予稿集の利便性を一層向上できたと考えております。これとは別に紙媒体の公式ガイドブックを受付にて配布いたしました。プログラム、シンポジウムの予稿、バイヤーズガイドが含まれており、かなりのボリュームで今後スリム化の検討が必要との意見を頂いております。講演会の更なる改善のために皆様の御意見をお寄せいただき、また御協力を御願いたします。

*山梨大大学院